

<p style="text-align: center;">国語科の目標</p>	<p>評価の観点等</p> <p>評価の観点</p> <p>①知識・技能</p> <p>②思考・判断・表現</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p>
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを旨とする。</p>	<p>①知識・技能</p> <p>○社会生活に必要な国語の知識を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができているかどうか等を評価します。</p> <p>☆定期テスト、ノートやプリント等の記述内容、発表内容等をもとに評価します。</p> <p>②思考・判断・表現</p> <p>○筋道を立てて考える力や、豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものに行うことができているか等を評価します。</p> <p>☆定期テスト、感想や作文、ノートやプリント等の記述内容、話し合い活動や、それらの活動に基づいた発表等をもとに評価します。</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度</p> <p>○言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度等を評価します。</p> <p>☆ノートやプリント等における記述内容、授業中の発言や参加状況、振り返りカード、教員による行動観察等をもとに評価します。</p>
<p style="text-align: center;">学習の特色</p>	<p style="text-align: right;">評価規準:○ 評価方法:☆</p>
<p>国語科の授業では、日常的な語彙の習得から、日本語を用いた思考力や表現力の育成を目指します。</p> <p>目標にある「言葉による見方・考え方を働かせる」とは、生徒が学習の中で、対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着眼して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めることを指します。そのような目標に向かって、優れた言語感覚をもった生徒を育成します。</p> <p>授業は、1・2年生は週4時間、3年生は週3時間で実施します。</p> <p>日々の授業の中では「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」について学習します。</p> <p>また、ICT を活用することで、個々の意見や考えをクラス全体で可視化、共有し、一人ひとりの考えをさらに深めていけるようにします。</p>	